

第8回日本原子力学会 計算科学技術部会 部会学生優秀講演賞を受賞

核融合科学研究所で研究をしている名古屋大学大学院工学研究科エネルギー工学専攻修士課程2年の斎藤誠紀さんが、「二体衝突近似シミュレーションと分子動力学シミュレーションのハイブリッドコードの開発」に関する業績で、第8回日本原子力学会 計算科学技術部会 部会学生優秀講演賞を受賞しました。

炭素ダイバータ板とプラズマの相互作用を解明するためには、化学反応を考慮しつつ、サブマイクロメートルスケールの多結晶グラファイトを扱うシミュレーションが必要です。斎藤さんは、中村浩章准教授の指導の下、二体衝突近似シミュレーションと分子動力学シミュレーションを組み合わせたハイブリッドコードを開発し、サブマイクロメートルスケールの材料を扱うシミュレーションに成功しました。

総研大核融合科学専攻より3名の学位授与者

3月28日、所長室にて総合研究大学院大学(総研大)核融合科学専攻学位記授与式が行われました。

本来ならば、3月24日に総研大本部にて学位記授与式に出席し、学長より学位記を授与される予定でしたが、震災等の影響を考え、3名とも参加を見送ったため、今回は専攻での学位記授与式を行いました。

小森彰夫所長(総研大核融合科学専攻長)より3名に学位記が手渡され、修了生は学生生活の締めくくりとして感慨もひとしおのようでした。



平成23年度総研大夏の体験入学のご案内

総合研究大学院大学(総研大)物理科学研究科核融合科学専攻では、大学院への進学を考慮しておられる方々にプラズマ理工学及び核融合工学に関連した研究を体験していただくことを目的として、平成23年8月22日から26日まで夏の体験入学を開催します。核融合プラズマの閉じ込め・加熱・計測に関わる実験及び理論的研究、プラズマ・シミュレーション研究、核融合炉設計・応用研究のための工学的研究など、幅広い分野から課題を選択し、教員及び総研大在学生の指導に沿って、少人数グループによる5日間の合宿形式で、核融合研究の最前線を体験していただきます。夏の体験入学の実施詳細は、核融合科学専攻HP(<http://soken.nifs.ac.jp/index.html>)を御覧ください。



大学共同利用機関法人 自然科学研究機構

核融合科学研究所 発行

NIFS NEWS No.199 (2011年4, 5月号)

〒509-5292 岐阜県土岐市下石町322-6

TEL: 0572-58-2222 (代表) FAX: 0572-58-2601

URL: <http://www.nifs.ac.jp/>

E-mail: nifs-news@nifs.ac.jp

* 過去のニュースはホームページにてご覧いただけます。

《複写される方へ》

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、(社)日本複写権センターと包括複写特許契約を締結されている企業の方でない限り、著作権者から複写権等の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けてください。

一般社団法人学術著作権協会 〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル3F

TEL: 03-3475-5618 FAX: 03-3475-5619 E-mail: info@jaacc.jp 著作権の転載・翻訳のような、複写以外の許諾は、直接本研究所へご連絡ください。